



中学生が教師を救う！？

—教師の労働問題解決に向けて中学生ができること—

Ⅱ年Ⅱ組 9番太田 10番大西 14番近藤

現状：教師の労働問題

公立学校教諭の月の
残業時間



図 読賣新聞オンライン2023/04/28

1か月の時間外労働上限
⇒45時間

過労死ライン
⇒80時間以上

36.6%過労死ラインを超過している教員がいる

SDGsとの関連性

先生の仕事の負担を減らす



SDGs8番の達成につながる

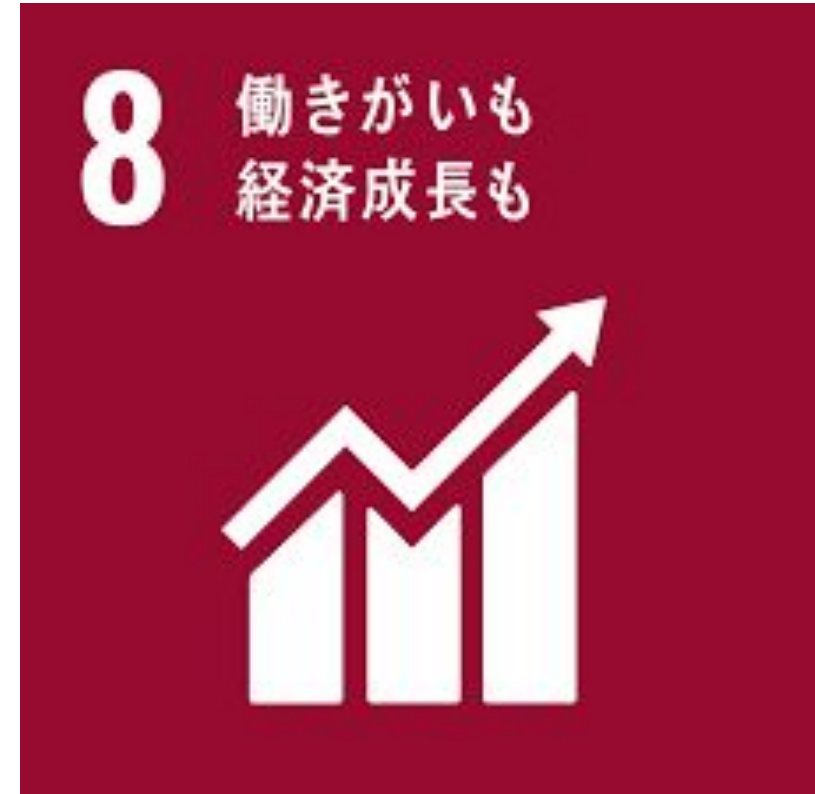


図 日本ユニセフ協会(ユニセフ
日本委員会)

原因

生徒への対応に追われていて
やりたい作業ができていない



労働時間が基準以上に長くなってしまふ

動機

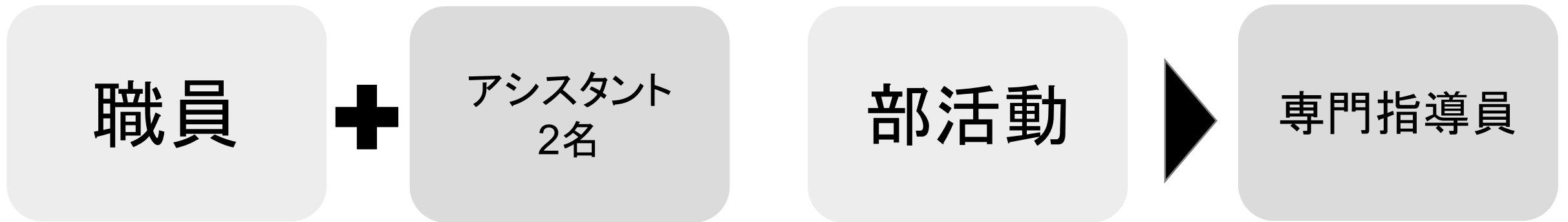
親の労働環境が悪いと感じた



中学校教師にも労働問題が存在していると知り、
自分たちにできることはないかと考えるように

先行実践

①横浜市立の小学校



各教員からの負担が軽くなったという声

②熊本市立長嶺中学校

アプリチーム・スマートチーム・シェア
チーム・リノベチームの
4つに分けて働き方改革を行う

アプリ

スマート

シェア

リノベ

コミュニケーションが活発化・個人持ちが少なく

問い

教師の労働問題について
生徒側からアプローチすることはできないか



生徒が主体的に動くことで教師の負担を減らせないか

アクション

先生がしゃべらないweek



- 帰りのホームルームの順番を変える
- 掃除が終わったら生徒が職員室に行き、報告する
- 配布物は生徒が配る
- 2分前着席をする

※11年の4クラスの担任を対象に実施

アクションの方法

- ①先生に事前インタビュー
⇒現状を知る
- ②『先生がしゃべらないweek』を行う
(12/11～15)
⇒先生の手を借りなくても学校生活ができるか
- ③先生に事後インタビュー
⇒アクションの影響を知る

アクションの結果（事後インタビュー）

負担は減りましたか？

Ⅱ－Ⅰ 担任→○

Ⅱ－Ⅱ 担任→○

Ⅱ－Ⅲ 担任→×

Ⅱ－Ⅳ 担任→×

生徒にできることは他にありますか？

Ⅱ－Ⅰ 担任⇒ 遅刻しない・集会の時に静かにする
・給食の準備をより早くする

Ⅱ－Ⅱ 担任⇒ 自分たちで声掛けをする・個人で意識する

Ⅱ－Ⅲ 担任⇒ これ以上ないと思う

(子供と接する時間はこれ以上減らせない)

Ⅱ－Ⅳ 担任⇒ 先生の指示に従う

今後も続けていきたいですか？

- Ⅱ－Ⅰ 担任⇒○ 効果を実感したので続けたい
- Ⅱ－Ⅱ 担任⇒○ これを習慣化してほしい
- Ⅱ－Ⅲ 担任⇒△ 慣れてきたら負担が減ると思う
- Ⅱ－Ⅳ 担任⇒△ 注意しないとやらないから困る

考察

効果を実感しているクラスとしていないクラスがある



生徒が**主体的**に動くことによって教師の負担を減らせる
という仮説が支持される

成果と課題

11年の担任の先生方の負担を減らすことが出来た

▼ But..

生徒たちの積極性にばらつきがある



① どうしたら生徒の積極性を上げることが出来るか

アクションの期間が一週間と短かった



②より長い期間で再び実施したい

このアクションをパッケージ化して
大泉のPRに！

先生の声から！

生徒への対応よりもデスクワークの方が大変である



③どうしたら教師のデスクワークを減らせるか

謝辞

アンケートに協力してくださった先生方
アクションに協力してくださった11年生
ありがとうございました！

参考文献リスト

・「残業月80時間」過労死ラインの教員、中学36%・小学14%...コロナ禍でも長時間勤務：読売新聞 (yomiuri.co.jp)アクセス:2023年12月

<https://www.yomiuri.co.jp/pluralphoto/20230429-OYT1150080/>

・公立学校の教師の勤務時間の上限に関するガイドライン

https://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/detail/__icsFiles/afieldfile/2019/01/25/1413004_1.pdf

・「横浜市立学校 教職員の働き方改革プラン」令和二年度 取り組み状況

https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/kosodate-kyoiku/kyoiku/plankoho/plan/hatarakikatakaikaku.files/0082_20210512.pdf

・学校における働き方改革～取り組み事例集～

https://www.mext.go.jp/content/20200220-mxt_zaimu-000005095_1.pdf

・workinHR.教員の負担を減らすための取り組み アクセス:2023年12月

<https://workin.jp/inquire/recruiting/knowhow/initiatives-to-reduce-the-burden-of-teacher-work-style-reform>

・クローズアップ現代. あなたの先生は大丈夫?教師の過重労働 その果てに何が アクセス:2023年12月
<https://www.nhk.or.jp/gendai/articles/4658/>

・しごとより、いのち。|厚生労働省 アクセス:2023年12月
https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/roudoukijun/karoushizero/index.html

・教員の働き方改革6つの具体例 ~実施のポイントもわかりやすく解説~ | WEBマガジン「#Think Trunk」 | 学校・教育機関向け | JTB 法人サービス アクセス:2023年12月
<https://www.jtbbwt.com/education/trend/detail/id=2073>

・時間外労働の上限規制アクセス:2023年12月
<https://hatarakikatakakaku.mhlw.go.jp/overtime.html>

・日本財団ジャーナル. 全ては子どもたちの未来のため。教師の過重労働、教師不足と向き合う現役教師たち
アクセス:2023年12月
<https://www.nippon-foundation.or.jp/journal/2022/72403>